



# プレーパーク レポート

第18号

2023年10月  
小鹿野町



みんなで植えた  
お芋を掘りました！

## 秋の遊びを楽しむプレーパーク！

10月29日のプレーパークはいつもの村の広場でハロウィンイベントがあったため、上の体験農園エリアで開催しました。

5月の開催時にみんなで植えた苗が立派に育って大きなサツマイモがたくさん収穫できました。獲ったお芋は次回の開催時に焚火で焼き芋にすることを伝えると、次回も楽しみとの声が多く聞かれました。

いつもよりエリアとしては広さがなく、そのことを心配していたのですが、逆にそれぞれの遊びの様子が近くでわかって、一体感がある遊び場になりました。

焚火はかまどを使って「草木染」を楽しみました。タマネギの皮、栗のイガの2種類の染液を似出して、事前に豆乳に浸してたんぱく質を定着させて色付きをよくした布を入れました。子どもも大人も輪ゴムや割り箸、ビー玉などを使って思い思いに「絞り」を作ったり、色止めの媒染液もミョウバン（アルミ媒染）、酢釘（鉄媒染）と2種類用意したのでどっちに入れようと迷ったり、楽しい時間が流れていました。



# 遊びの様子

芋掘りや虫捕り、染め物などの遊びを楽しむ傍ら、のんびりとした空気の中で多くの子どもも大人も楽しんでいたのがコマやけん玉などのスキルトイでの遊びでした。

たまたま、みどりの村のキャンプ場に泊りに来ていたという若者グループも立ち寄って子どもたちの輪に入ってコマやけん玉にトライ。子どもが大人にコツを教える場面や、コマ名人のお父さんの技に一同歓喜の声をあげる瞬間など多世代交流の場にもなっていました。



プレーパークは何歳からでも遊べる場所です。ここ最近では赤ちゃんや未就園の小さなお子さんも遊びに来てくれるようになってきました。

これまではしっかり用意できていなかった幼児用の遊びスペースづくりもはじまりました。まだ歩けない小さな子どももシートの上でその子なりの遊びができるように、ちょっとした木製のおもちゃや絵本、パペットなどを持ち寄りました。自宅に小さい子が楽しめそうな楽器類などあったら、ぜひ、ご寄付をお願いします。



芋掘りをしていると出くわすのが「イモムシ」でした。子どもたちは興味津々。捕まえては虫かごに入れて、芋掘以上に熱中する子どもたちも数人いました。このイモムシはとても大きく「エビガラスズメ」という蛾の幼虫です。迫力のある見た目が人気で次々と発見しては虫かごにたくさん入れていました。

また、他にもカマキリとの出会いもありました。これにはイモムシ以上の興奮があり、子どもも大人も虫好きの人たちが集って観察したり触れたりしていました。



芋掘りも掘り当てることが一番盛り上がりはしましたが、蔓を切る、芋を運ぶなどそれぞれに楽しみと役割が分かれていました。

プレーパークは子どもも大人もそれぞれのやってみたいことができる場所です。多様な楽しみ方が見られることが、一番の魅力です。昼過ぎには一通りの芋は掘り起こされており、他の遊びをする子どもが多かったのですが、ハロウィンから流れてきた子どもを中心に午後後も芋掘りは継続。芋が発見された時の「イモイモー！」という掛け声と笑顔の絶えない一日となりました。

